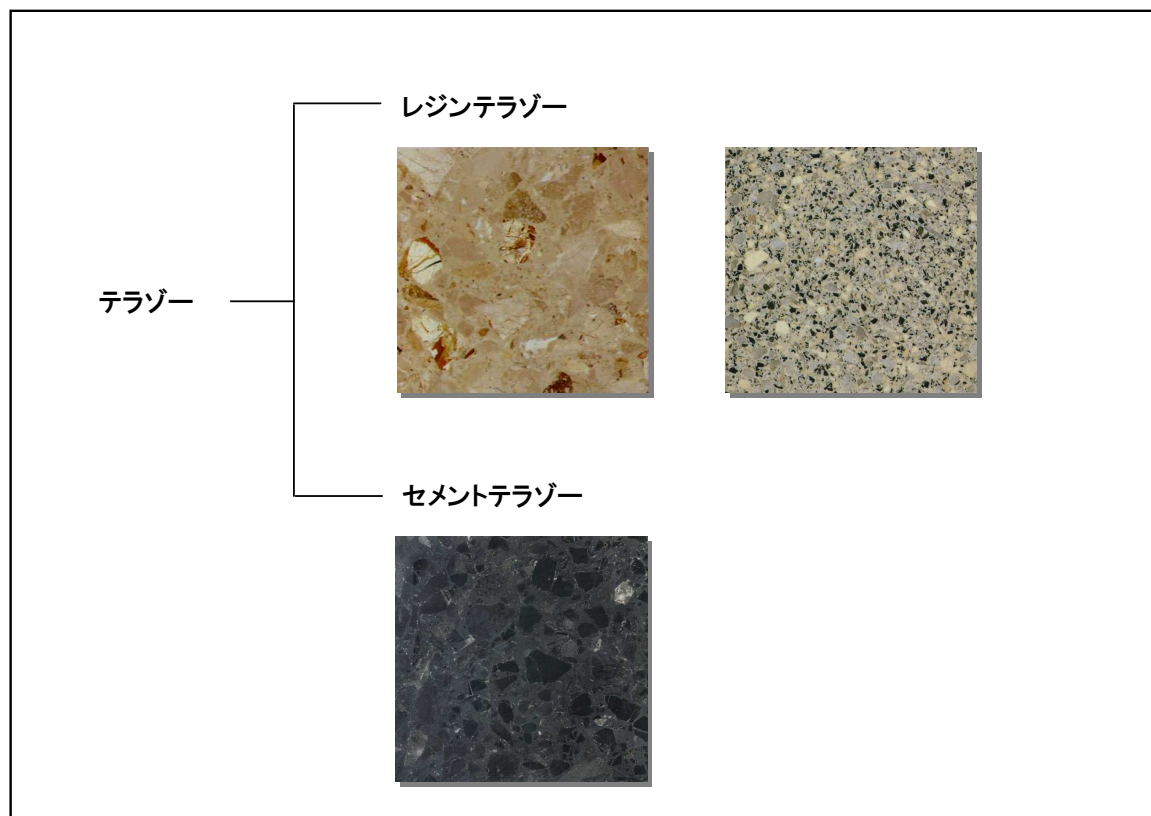


テラゾーのメンテナンスレポート

テラゾーの種類

■代表的なテラゾー



■テラゾーの性質

[レジンテラゾー]

- 本磨き仕上げのものが多く、吸い込みはほとんどない。
- 樹脂ワックスの密着性に劣る。
- 耐酸性に劣る。
- 耐傷付き性に劣る。

[セメントテラゾー]

- 水磨き仕上げのものが多く、比較的吸い込みが多い。
- 樹脂ワックスの密着性に優れる。
- 耐酸性に劣る。
- 耐傷付き性に劣る。

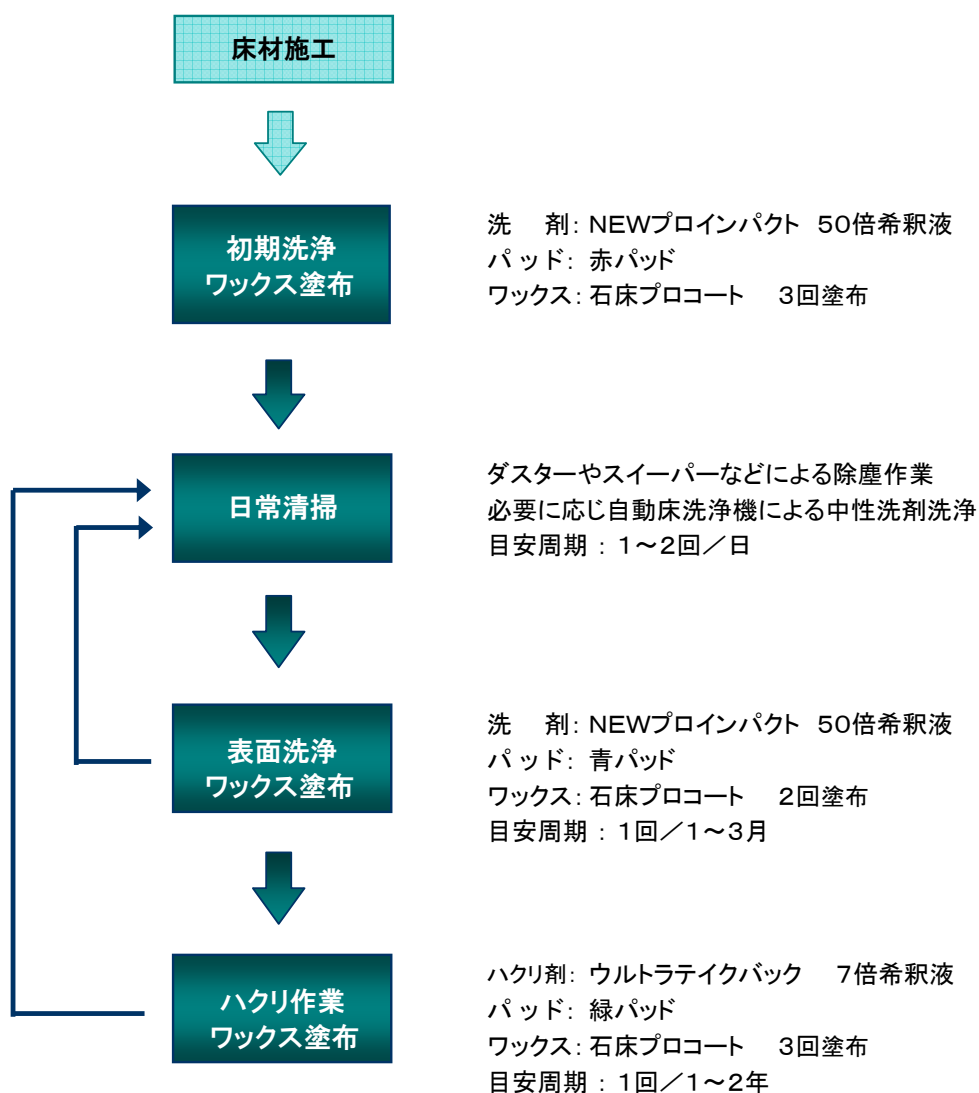
メンテナンスポイント&注意点

テラゾーは、樹脂ワックスが密着しにくく、剥がれなど密着不良のトラブルを招くことがあります。そのため、テラゾーに対する密着性に優れた石質系床材用樹脂ワックス「石床プロコート」を選定します。

また、テラゾーは耐酸性や耐傷付き性に劣る大理石などの砕石を使用しているため、酸性洗剤や研磨剤入りの洗剤は、床材損傷の原因となるので、特別な作業以外に使用しないようにします。

その他の床用洗剤やハクリ剤の使用においては、特に大きな影響を及ぼすことはありませんが、使用後は洗剤成分を残留させないよう十分な水洗浄や水拭きを行います。

メンテナンスサイクル例



メンテナンスポイントおよび作業方法（1）

初期洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 施工後の養生期間(1週間以上)を置いてから初期洗浄を行います。
- 洗浄する前は必ず掃除機がけを行います(モルタルなど施工時のホコリを除去します)。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- 洗浄後(汚水回収後)は、必ず水洗浄を行います。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- テラゾーに適した石質系床材用樹脂ワックス「石床プロコート」を使用します。

作業手順



日常清掃

ポイント

- エントランスなど歩行頻度高い場所は、除塵の作業頻度を増やします。
- 雨天日は、雨水による汚れや滑りによる転倒防止のため、雨天時用マットを設置し、持ち込まれた雨水や土砂は早めに取り除きます。
- 広い面積の現場は、自動床洗浄機による洗浄が効果的です。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターやスーパーなどを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

モップ拭き

＜水拭き用モップ、必要に応じ中性洗剤(つやワザ復元クリーナー)を使用＞

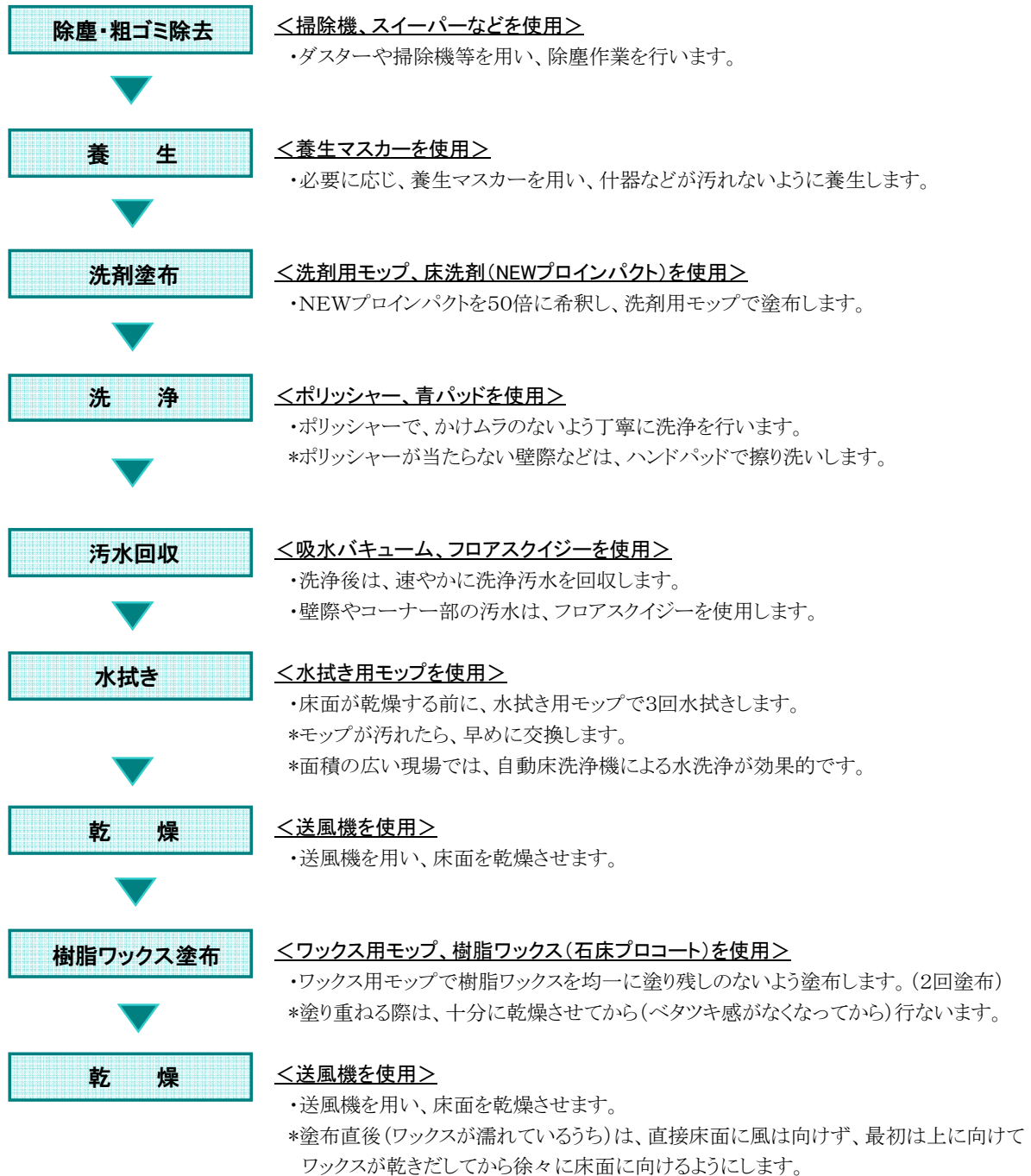
- ・汚れた箇所やヒールマーク汚れは、モップで拭き取ります。
- *油汚れが多い現場は、中性洗剤(つやワザ復元クリーナー 100倍希釈)を使用します。
- *広い面積の現場は、自動床洗浄機による洗浄が効果的です。

表面洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 光沢の低下や汚れが目立ってきたら、本作業を行います。
- 洗剤を希釈する際は、計量カップなどを用い正しく希釈します。
- ポリッシャー洗浄でも落ちないヒールマーク汚れは、ハンドパッドで擦り落とします。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- テラゾーに適した石質系床材用樹脂ワックス「石床プロコート」を使用します。

作業手順



ハクリ・ワックス塗布作業

ポイント

- ハクリ作業を行わない場所との境や、什器下に汚水が流れ込んでしまう場所は、養生マスキで養生します。
- ハクリ剤は、乾かないよう多めに塗布します。(乾いたら再塗布します。)
- テラゾーは傷付きやすいので、ハクリ作業の場合でも使用は緑パッドまでとします
- ハクリ後(ポリッシャーがけ後)の汚水は素早く回収し、床面が乾く前に水洗浄を行います。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- テラゾーに適した石質系床材用樹脂ワックス「石床プロコート」を使用します。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜掃除機、スーパードライなどを使用＞

- ・ダスターや掃除機等を用い、除塵作業を行います。

養生

＜養生マスキを使用＞

- ・養生マスキで、作業場所との境や汚水が流れ込むような什器下に養生します。

ハクリ剤塗布

＜ハクリ剤用モップ、ハクリ剤(ウルトラテイクバック)を使用＞

- ・ウルトラテイクバックを7倍に希釈し、ハクリ剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- *ハクリ剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

ハクリ洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーで、かけムラの無いよう丁寧にハクリ洗浄します。
- *ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・洗浄後は、速やかに洗浄汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

水洗浄 → 水拭き

＜ポリッシャー、給水バキューム、水拭き用モップを使用＞

- ・ポリッシャーで水洗浄を行い、給水バキュームで汚水を回収します。
- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで2回水拭きします。
- *面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。
- *モップが汚れたら、早めに交換します。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス(石床プロコート)を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しの無いよう塗布します。(3回塗布)
- *塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- *塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。